

# 大震災・復興ニュース(第12報)

平成23年7月8日

仙台地方振興事務所水産漁港部

## 1 水産業復旧・復興に向けた対応状況(国及び県全体の動き)

### 第2次補正予算案について

第2次補正予算案について、7月5日に閣議決定され、早ければ22日に成立する見通し。概要は、農林水産関係補正予算207億円のうち大部分の193億円が水産業共同利用施設復旧支援事業(拡充)である(詳細は別紙のとおり)。

### 宮城県内の水産物の放射性物質測定結果について

宮城県内で採取した水産物について、下記のとおり東北大学の協力を得て放射性物質の測定をしたので、その結果をお知らせします。

- 1 測定年月日 平成23年7月4～6日
- 2 測定分析機関 東北大学(東北大学への協力依頼による)
- 3 測定結果 国が定めた暫定規制値を下回り、安全性に問題がないことが確認された。

放射性物質の値は採取日における値を示す。

水産物(採取日 平成23年7月3～4日)

(単位:ベクレル/kg)

種別	採取場所	放射性ヨウ素	放射性セシウム
アイナメ	仙台湾	不検出	10
マサバ	仙台湾	不検出	不検出
アユ	大川(気仙沼市)	不検出	53

食品衛生法の規定に基づく食品中の放射性ヨウ素の暫定規制値 2,000 ベクレル/kg

食品衛生法の規定に基づく食品中の放射性セシウムの暫定規制値 500 ベクレル/kg

## 2 管内の復興に向けた動き

### <水産漁港部からのお知らせ>

#### 管理漁港及び漁場の啓開(けいかい)作業状況

- ・ 県管理漁港の航路・泊地内の漁具や沈没した船舶・自動車等支障物の撤去作業は、塩釜漁港越の浦地区への航路の啓開作業は、7月4日から作業開始。
- ・ 漁場の啓開作業は、5月23日から松島湾で着手し、潮位の関係から七ヶ浜沖と並行して2台の起重機船で引き続き作業を行っている。

バックホウ台船は、6月14日から松島湾の東名地区で引き続き作業を行っている。

また、仙台湾漁場へは6月28日から起重機船にて支障物撤去作業に着手した。

水陸両用バックホウについては、組み立て作業を終了し、7月6日から松島湾内の撤去作業に着手している。仙台湾の測量作業は、6割程度完了。今後、引き続き残りの漁場の調査を実施していく。



水陸両用バックホウ

### 漁港の応急復旧状況

- ・荒浜漁港の海岸堤防の応急工事については、阿武隈川河口から南側約900m区間の1次応急工事は完了し、2次応急工事のための大型土のうを作成中。また、決壊している堤防2箇所については、大型土のうを3段積みで6月11日に完了している。
- ・荒浜漁港南導流堤基部の決壊箇所の閉塞工事については、現在、吉田排水機場から北側に仮設道路工事を施工中で全体約500mの内、約200mについて作業を完了している。
- ・磯崎漁港長田地区の臨港道路の舗装補修等については、7月7日から作業実施中。



荒浜漁港海岸応急工事施工状況

### <トピックス>

#### 5t未満船展示会

7月4～6日に県漁協塩釜総合支所において、「共同利用小型漁船建造事業」活用を前提にした5t未満船（和船モデル）展示会が行われた。

ヤマハの各種和船展示の他、ヤマハ・三菱各社の船用エンジン、坂井漁網のロープ展示があり、県内から3日間で600人を超す生産者が訪れ、性能について業者へ質問をしていた。



展示会風景

## 水産加工業支援コーディネーターについて

水産加工業支援の相談員が当部に常駐することになりました。

「昨年5月から水産加工業支援事業活用推進コーディネーターを努めております阿部でございます。

県内で水産加工業を営む方々のために、融資、補助制度などのご紹介や事務手続きなどの書類作成の他、輸出水産物製造施設登録などのお手伝いをさせていただきます。

この度の震災により大きな被害を被りました関係の皆様には、心からお見舞いを申し上げますと共に、復興に向けてのお手伝いをさせていただきますので、下記あてご連絡頂ければ幸いです。

電話（携帯）：080-6058-5680」



阿部和夫コーディネーター

## 災害復旧応援職員の紹介

漁港の災害復旧の応援のため兵庫県から松尾進吾課長が当部に参りました。

「兵庫県の淡路島にある洲本農林水産振興事務所という小さな事務所から応援に来ました。島内の漁港も平成7年の阪神・淡路大震災で大きな被害を受けましたが、宮城県をはじめ全国の自治体から多くの方々に応援に来ていただいたおかげで、時間はかかりましたが以前より立派な姿になって生まれ変わることができました。今回の被災は兵庫県が受けたものと比較にならないほど大規模ですが、いつか必ず蘇る日が訪れるものと信じ、その日が一日でも早くなるよう、短い期間ですが精一杯お手伝いさせていただきたいと思っております。」



松尾進吾さん

(別紙)

## 平成23年度第2次農林水産関係補正予算の概要

平成23年7月  
農林水産省

総額 207億円

### I 二重ローン問題対策

---

- |   |       |
|---|-------|
| ① 水産業共同利用施設復旧支援事業   | 193億円 |
| ・ 被災した漁協・水産加工協等の水産業共同利用施設（製氷施設、市場、加工施設、冷凍冷蔵施設等）の早期復旧に必要な機器等の整備を支援 |       |
| ② 木質系震災廃棄物等の活用可能性調査   | 1億円   |
| ・ 木質系震災廃棄物等を活用し、持続的かつ安定的にエネルギーを供給する可能性（熱需要の把握等）を調査                |       |

### II 原子力被害対策

---

- |  |     |
|--|-----|
| ① 農地土壌等の放射性物質の分布状況等の推移に関する調査                           | 2億円 |
| ・ 現状の調査点数を大幅に拡大して農地土壌等を採取、分析し、農地土壌中の放射性物質濃度分布図を精緻化     |     |
| ② 森林内における放射性物質の分布状況等に関する調査                             | 2億円 |
| ・ 福島県内の森林地域における空間線量率、土壌等の放射性物質濃度の調査                    |     |
| ③ 水産物の放射性測定調査委託事業                                      | 5億円 |
| ・ 原発事故周辺海域の水産物の放射性物質調査、放射性物質の高精度分析に必要な機器・分析体制の強化       |     |
| ④ 輸出農産物等信頼回復活動事業                                       | 5億円 |
| ・ 日本産農産物等の信頼回復のための海外消費者に向けた情報発信及び輸出農産物等に係る放射性物質の検査機器整備 |     |